

人権条例「探求する」

知事、骨子案で説明

玉城デニー知事は13日、ヘイトスピーチに対応する県人権条例の骨子案が沖縄

ルーツの人々でなく「県民」を保護すると規定していることについて、「例えば琉

球人を定義しようとする
と、どういうルーツを持つ
て、民族として広がってい
るか、幅広い議論が必要に
なる」と説明した。

県議会（赤嶺昇議長）11
月定例会の一般質問で、喜
友名智子氏（立憲おきなわ）
は「沖縄をルーツとする人
々をヘイトスピーチから守
るという意図が全く感じら
れない」と指摘。知事は県
民対象のパブリックコメン
ト（意見募集）を実施中だ
として、「意見の一つ一つ
を丁寧に検討し、どのよう
な条例にできるか、真摯に
探求していく」と述べた。

（編集委員・阿部岳）